

2008年1月から2011年12月までに口唇口蓋裂児に対する哺乳指導や、同児の発達評価などのため、当科外来を受診されたご家族の皆様へ

課題名：口唇口蓋裂児と発達障害の関連性の検討

#### ○研究の概要

口唇口蓋裂児では、哺乳障害や構音障害が問題になります。過去には、染色体異常に合併した口唇口蓋裂を持つ児では、精神運動発達遅滞を合併しやすいと報告されてはいますが、その詳細については未だ明らかになっていません。

当院を受診したほとんどの口唇口蓋裂児は、早期に発達障害を見つけるため、リハビリテーション科に紹介され、発達検査が施行されています。

今回我々は、2008年1月から2011年12月までに当科に紹介された新生児期、乳児期の口唇口蓋裂児を対象に、発達検査の結果を後方視的に調査することで、運動発達や精神運動発達の問題が、①どの程度合併するか、②どの時期から診断可能か、について検討します。

#### ○対象となる患者さん

2008年1月から2011年12月までに当科外来を受診された、新生児期・乳児期の口唇口蓋裂の児175名を予定しています。

#### ○実施場所

川崎医科大学附属病院リハビリテーション科

#### ○個人情報の保護について

調査したデータは、本研究の目的以外に使用することはありません。また、調査の結果を学会発表などで公開する際には、患者さんそれぞれの名前や生年月日、等の個人情報が他の人々に知られることは一切ありません。調査した個人情報のデータは鍵付き保管庫に保管し、パソコンでの解析は個人情報を削除して行います。

※データの取り扱いに対する拒否は可能です。対象となる患者さんで、データ使用を拒否される方は、お手数ですが下記のお問合せ先までご連絡ください。

#### ○利益相反について

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

○研究期間

倫理審査承認日～平成 26 年 3 月 31 日

○お問合せ

主任研究者：目谷浩通

所属：川崎医科大学リハビリテーション医学教室

職名：講師

電話番号：086-462-1111（内線 44501）

e-mail：[meta@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:meta@med.kawasaki-m.ac.jp)